



知ってとくとく 箱ワナのエサやり法

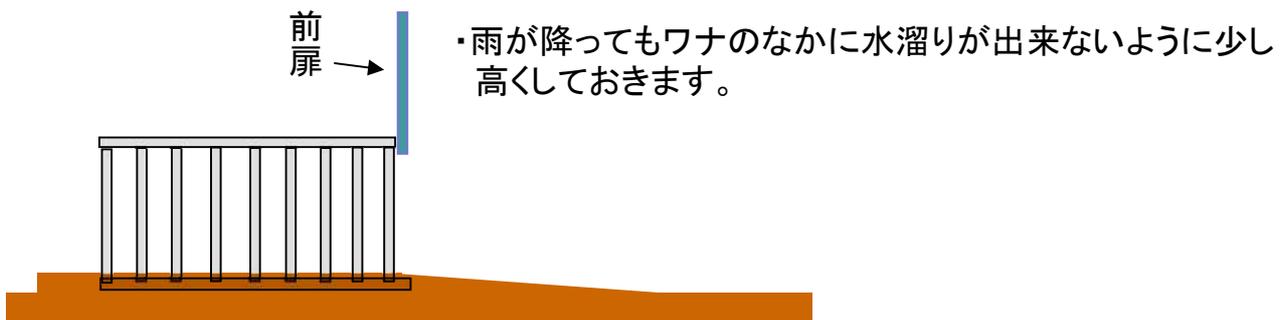
めざせ、一網打尽

1 箱ワナの設置場所

- ・箱ワナ(以下、ワナ)の設置場所は、被害を受けるほ場からやや離れた耕作地の無い山際や藪などで**管理のしやすい場所**が良いでしょう。
- ・集落と山とを分断するような侵入防止柵がある場合は、柵の山側に置きましょう。

2 箱ワナの設置法

- ・イノシシは足元の変化には敏感ですので、ワナの底の鉄格子に土を被せて隠し、入り口と段差が無いようにしておきます。
- ・山側の急な斜面や石垣などを檻の側面につけるようにすると良いでしょう。

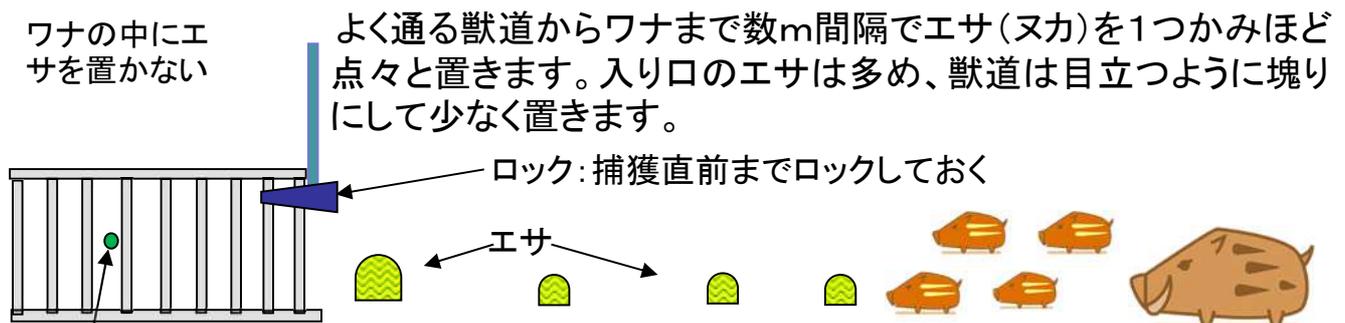


3 箱ワナのエサやり法：群れ（親子）でいる場合

- ・捕りやすい子どもを捕るのではなく、**親子共々一網打尽に捕る事**が重要です。

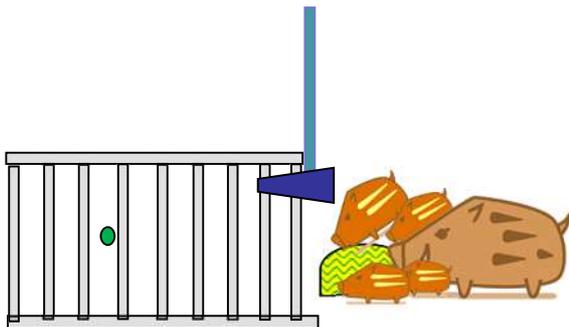
子だけ捕ると、捕りこぼした個体はワナに対する警戒心が強くなり、捕まりにくくなります。結果として、捕まりにくい個体をどんどん増やすことになります。

ステップ1：ワナまでの誘引 エサは獣道から順にワナの近くへ



トリガー(蹴り糸)はワナ設置時から**ウリ坊(子)の高さより高く親の肩の位置に**設置しておきます(40cmくらい)。

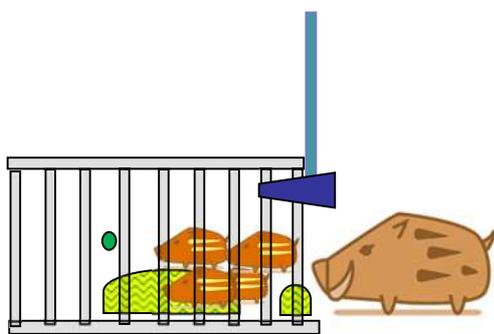
ステップ2: 親にエサを食べさせ、エサの量を知る



トリガーは慣れさせるため捕獲の状態、入り口はロックしておく

・入り口まで誘引出来たら、ワナの外に親がエサを食べられるように(ウリ坊が先に手前のエサを食べてしまう)たっぷりやります。親を含めて1日に食べる量を測定します(親が食べていることを確認します)。

ステップ3: ワナの奥へ誘引



・親が入口で食べるようになったら、徐々にエサの位置を奥にしていき、何日かけて罠の奥に誘導します。親は子につられて中に入りません。

・中へ引き込むのを慌てずにエサをたっぷり食べさせながら徐々に奥まで親が入るようにします。

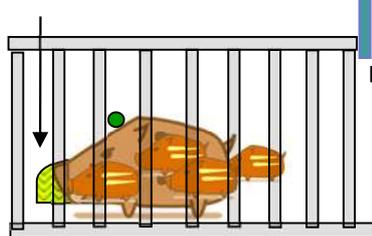
・エサの食べる量が少ない、中になかなか入らない場合は、少し手前にエサの位置を戻します。

・毎日エサを食べさせるようにします。

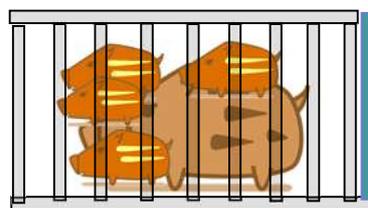
警戒心を解くカギはエサを食べさせること

ステップ4: 捕獲

トリガーの奥にだけエサを置く



親が奥まで入るようになったら、捕獲日を決めて入り口のロックを解除します(翌日捕獲されている)。



親とウリ坊(子)を一網打尽!

捕獲したイノシシは苦痛の無いように処理することが望ましいです。捕獲後の処理体制を整えてから捕獲しましょう。

●お問い合わせについて

○愛知県農業水産局農政部 農業振興課 野生イノシシ対策室

所在地: 〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 : 052-954-6726(ダイヤルイン) FAX : 052-954-6008

2021年4月改定